

令和7年度 法人本部 事業報告書

1. 事業実施期間 令和7年4月1日から令和8年3月31日

2. 概要

○今年度の成果

「生活介護ゆうほ」の施設整備補助金の内示が7月におり、法人内でのプロジェクトチームを中心に建替えに向けての計画を実行に移すことができた。長崎市の内示後、設計・監理業務委託先との契約締結、12月には工事請負業者の入札ならびに契約を行った。仮設となる旧農協建物の改修工事を行い12月中旬には引越しを終え、事業所を閉所することなく運営を継続できた。これまで使用してきた、「生活介護ゆうほ」の建物（基本財産）を解体処分し定款の変更を行った。福祉医療機構や銀行からの借入金についても予定通り進めることができています。

経営面においては、利用者獲得に力を入れ法人全体での利用率97.7%を維持することができ昨年度より6.4%の収入増となった。その一方で事務費や建替えに関連する業務委託費の支出が多くなった。物価高騰が続いているが、長崎県から障害福祉サービス事業所への2度にわたる物価高騰緊急支援金を充てることができたことは良かった。人件費については、最低賃金の改訂に伴い給与体系の見直しを行った。「福祉・介護職員処遇改善加算金」を活用し、毎月の手当を11,000円増額した。

諸管理については、仮設事業所への引越しを見据え保管書類の整理やデータ移行を行い紙媒体の資料の削減に努めた。各種会議においてペーパーレスを推進しているが未達成のため、継続的に取り組んでいきたい。また、業務実施要綱や各種規程の整備を進め、多様な働き方に応えるため定年の年齢を60歳から65歳へ引き上げ、再雇用の上限年齢を廃止した。

地域との関わりについても法人行事の「ゆうほまつり」や、古賀地区まちづくり協議会の「つながりづくり事業部会」への積極的な参画を行い、地域住民の方との交流の機会を持つことができた。各事業所においても近隣の公園等のゴミ拾いなど、利用者の活動の一環として地域貢献に繋げる事ができた。

○次年度の課題（継続）

- ・法人経営の安定化（全事業所 利用率100%を目指す）
- ・手元資金の充実
- ・ゆうほ、本部、あゆむの新施設への円滑な移転作業
- ・地域貢献活動の継続

3. 職員体制（本部）

職 名	氏 名
理事長	橋口 幸恵
業務執行理事・経理部門責任者	松浦 晃己
業務執行理事・人事労務部門責任者	三浦 宏
管理者・運営部門責任者	馬場 友香里
事務長（経理）	前田 忍
事務員（総務・広報）	村中 希

※法人全体職員数

R7. 3. 31 職員48名、準職員25名、短期登録職員7名 計80名



・入職 (職員10名、準職員6名、短期登録職員4名)

・退職 (職員12名 *うち1年以内退職者5名、準職員5名)

R8. 3. 31 職員46名、準職員27名、短期登録職員6名 計79名

4. 理事会の開催

	開催日時	議 題	場 所
第1回	5月 24日(土) 10:00~11:30	①理事長及び業務執行理事の業務執行状況報告 ②令和6年度事業報告について ③令和6年度決算報告及び監査報告について ④社会福祉充実残額の報告及び社会福祉充実計画について ⑤令和6年度余剰金における積立(案)について ⑥評議員選任・解任委員会の開催日程について ⑦評議員候補者(8名)について ⑧役員(理事・監事)候補者について ⑨規程の改訂及び策定について ⑩理事長の役員報酬額について ⑪令和7年度第1回評議員会の開催について	遊歩の会2階 会議室
第2回	6月14日(土) 16:00~16:30	①理事長の選任について ②業務執行理事の選任について ③評議員選任・解任委員の選任について ④内部通報規程の策定について	遊歩の会1階 会議室
第3回	9月 5日(金)	①「ゆうほ」改築工事に係る設計事務所との設計監理業務委託契約締結について ②仮設事業所改修工事業者との工事請負契約締結について	書面決議
第4回	10月 3日(金)	①「ゆうほ」施設整備に伴う資金計画、担保提供及び連帯保証人について	書面決議
第5回	11月 8日(土) 10:00~12:00	①理事長及び業務執行理事の業務執行状況報告 ②規程改訂について ③「ゆうほ」施設整備(解体・建設工事)に伴う契約事務について ④基本財産の処分について ⑤理事及び監事の報酬の総額について ⑥第2回評議員会の開催について	遊歩の会2回 会議室
第6回	11月21日(金) 18:30~19:00	①「ゆうほ」施設整備(解体・建設工事)に伴う契約事務(予定価格)について	遊歩の会2階 会議室

第7回	3月 7日(土) 10:00~11:30	①令和7年度補正予算案について ②令和8年度事業計画案について ③令和8年度収支予算案について ④規程改訂について ⑤定款変更について ⑥第3回評議員会の開催について	地区センター 研修室①
-----	-------------------------	--	----------------

5. 評議員会の開催

	開催日時	議 題	場 所
第1回	6月14日(土) 14:00~15:00	①令和6年度事業報告について ②令和6年度決算報告及び監査報告について ③社会福祉充実残額の報告及び社会福祉充実計画について ④役員改選について ⑤理事長の役員報酬額について	遊歩の会1階 会議室
第2回	11月12日(水)	①基本財産の処分について ②理事及び監事の報酬の総額について	書面決議
第3回	3月21日(土) 15:00~15:30	①定款変更について	地区センター 研修室①

6. 監事による監査

- (1) 監査実施日 令和7年5月13日(火) 10:00~16:00
- (2) 監査内容 令和6年度の法人の事業報告及び会計収支決算ならびに財務状況等
- (3) 監査報告 令和7年5月16日に監査報告あり。理事会5/24、評議員会6/14に報告および長崎市長へ報告
- (4) 定期監査(会計) 7/2、9/19、11/19、1/19、3/17、5/7 の計6回
法人の財務状況に関し全般的な監査

7. 行政実地指導監査 ・児童デイサービスゆうゆう 令和7年10月1日(水)(長崎市による監査)
・児童デイサービスゆうみん 令和7年10月2日(木)(長崎市による監査)

8. 法人指導監査 令和7年10月9日(木) (長崎市による監査)

9. 発生(事故)等件数

本部事業所内: 事故0件、発生4件、ヒヤリハット14件

法人全体: 事故報告(行政報告事例)0件、苦情0件

発生報告の内、交通事故(軽微接触含む)11件、利用者職員の怪我(受診)8件

10. 年間行事（研修・会議等）

	全体	事業所内
4月	入社式、イオン贈呈式、合同運動会、法人歓迎会	
5月	感染症対策委員会、避難訓練	環境整備、避難訓練
6月		
7月	人事考課、遊歩の会だより発行、法人研修、AED講習	
8月	古賀地区納涼夏祭り参加、介護等体験・インターンシップ受入	環境整備
9月	感染症対策委員会	
10月	入社式、感染症対策委員会、ゆうほまつり 青年協会おくんち前夜祭参加、家族会	
11月	避難訓練、インフルエンザ予防接種、ハートエンター文化祭	環境整備、避難訓練
12月	法人忘年会	
1月	感染症対策委員会、心身障害者団体連合会成人式参加 人事考課、健康診断	初詣（矢上神社）
2月	遊歩の会だより発行、法人研修	環境整備
3月	感染症対策委員会	
通年行事	辞令交付式（対象月）、本部会議（週1回）、 管理者会議（月1回）、運営委員会（月1回）、 税理士巡回（月1回）、社会保険労務士巡回（月1回）、 嘱託医巡回（月1回）、プロジェクト会議、 ゆうほまつり実行委員会、合同運動会実行委員会	職員会議（月1回）、 事業所内研修（月1回）、 サポート面談（月1回） フォローアップ面談（入 社・異動3ヶ月後）

○求人活動

6/22 ふくしの仕事就職フェア、7/6 合同企業説明会、12/6 しごとみらい博、2/14 若年者企業説明会

○必須研修

- ・虐待防止研修（集合研修）R8. 2/15(日) ・ハラスメント対策研修（集合研修）R7. 7/4、5
- ・感染症対策研修（各事業所にて）「食中毒予防のために」6月、「環境衛生、車内での嘔吐対応」11月

○その他の研修等

- ・法人内監査7月：事業所巡回（ファイリングチェック、環境チェック、法令遵守チェック等）
- ・職員交流研修 ・人事考課評定者研修：4/20(日)
- ・新人研修：理念・規則・マナー・制度・事業所体験等の入社時プログラム 4月～、10月～
3年目研修：6/13 5年目研修：企画自主研修 6/27～
7年目研修：「自分プロジェクト～行動力アップ研修～」9/6、7（～6ヶ月）

11. 寄付金品等

- | | | |
|----------|------------------|----------|
| 1. 現金 3件 | 島田 幸一郎 様 | 50,000円 |
| | 中田 修治 様 | 100,000円 |
| | たかすぎ内科クリニック 様 | 150,000円 |
| 2. ギフト券 | イオン黄色いレシートキャンペーン | 39,100円 |
| 3. 菓子 | ぷれぷれ遊歩利用者ご親族様 | |
| 4. 招待券 | ヤベホーム（株） 様 | |

令和7年度 ゆうほ 事業報告書

1. 事業実施期間 令和7年4月1日から令和8年3月31日

2. 開所日および開所時間 月曜日～土曜日 8:00～17:00
※日曜、祝祭日、8月15日、12月30日から1月3日を除く

3. 開所日数および利用状況 (1日の利用定員20名)

R7年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	25	24	25	26	24	24	25	23	24	23	23	25	291
延べ利用者数	454	434	432	451	410	421	453	408	415	420	416	443	5157
平均利用者数	18.1	18.1	17.2	17.4	17.1	17.5	18.1	17.7	17.3	18.3	18.1	17.8	17.7
前年度平均利用者数	15.9	16.7	16.2	15.9	15.3	15.7	15.9	15.7	16.4	16.1	14.3	15.6	15.8

4. 職員勤務体制

管理者兼サービス管理責任者・・・1名（常勤兼務）

生活支援員・・・12名（常勤8名、非常勤4名）

生活支援員兼看護師・・・2名（非常勤）

生活支援員（事務担当）・・・1名（常勤兼務）「相談支援事業所あゆむ」と兼務

運転士・・・2名（非常勤）

5. 事業内容

(1)個別の活動やレクリエーション

個別訓練、音楽活動、絵画工作、健康・運動、調理、地域散策、その他日常生活支援（食事・排泄等の支援）、入浴サービス

(2)地域活動

外出活動：諫早総合運動公園散策、結の浜、スポーツパークいさはや、アエル諫早、長崎県立美術館、なごみの里運動公園、アエルいさはや、九十九島水族館海きららスタジアムシティ、その他買い物活動（各店舗）

(3)実習受け入れ

時和特別支援学校高等部・長崎特別支援学校高等部・鶴南特別支援学校高等部

(4)施設実習受け入れ

長崎女子短期大学幼児教育施設実習・社会福祉協議会「介護等実習」受け入れ

(5)その他 利用者面談、健康診断、環境整備活動、避難訓練

(6)事故報告（0件） 発生報告（10件） ヒヤリハット（202件）

6. 会計 別添報告書参照

7. 職員研修

(外部研修)

社会福祉協議会・初任者研修・サービス管理責任者 基礎研修・更新研修・AED救命講習
長崎県強度行動障害支援者養成研修(基礎・実践・フォローアップ)・防火管理責任者研修
相談支援従事者初任者研修・安全運転管理者講習

(法人研修)

人事考課評価者研修
法人内監査
虐待防止・感染症予防・ハラスメント研修
キャリア別研修 新人研修・5年目研修・7年目研修

(事業所内研修)

事業所見学 ジーニアス他
サポーターズカレッジ 福祉施設職員に必要な仕事の考え方
てんかん発作についての研修

8. 今年度の成果

- ・新規利用者の受け入れを実施し、利用率も向上に努め、収支も安定することができた。
- ・利用者の「好きな事」「得意な事」を見つける取り組みを実施し、より利用者の方のニーズにこたえることができた。
- ・活動にフラダンス（月1回）を加え利用者の方も楽しむことができた。
- ・機能訓練や移乗ロボットを活用し利用者の方の機能維持に努めることができた。
- ・仮拠点への引っ越しを計画通り進めることができた。
- ・新しい取り組みについても進めることができている。

9. 来年度への課題

・研修時間の確保

支援スキル、福祉の考え方等についての研修機会と時間の確保が必要。サービス提供時間の工夫等も含め改善が必要と考えている。

・人材の確保。生活支援員、運転士

新規利用者の獲得とニーズ対応のため、職員数を確保したい。

・建て替えに向けた計画、準備、実行

仮拠点での活動の充実、グループ分け、を進め、実際に取り組んでいく中でサービスの向上を目指す。

・支援内容の強化

「個別活動カード」や「グループ活動」の内容をより具体的に作成し利用者が楽しむことができる活動を提供する。

和 7 年 度 相 談 支 援 事 業 所 あ ゆ む 事 業 報 告 書

1. 事業実施期間 令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日

2. 開所日および開所時間 月曜日～土曜日 8 時 30 分から 17 時 30 分
※日曜、祝日、国民の休日、8 月 15 日、12 月 30 日から 1 月 3 日を除く

3. 開所日数および利用状況

令和 7 年度		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
開所日数		25	24	25	26	24	23	26	24	24	23	23	25	292
計画相談	計画相談更新	7	7	5	7	5	6	5	4	6	6	11	3	72
	計画相談モニタ	4	8	6	11	7	11	8	5	14	8	7	7	96
	サービス提供時加算	19	24	5	5	16	0	25	7	20	19	18	0	158
障害児相談	児更新	6	4	1	1	6	0	3	2	3	3	0	1	30
	児モニタ	2	2	2	0	1	1	2	3	1	3	1	0	18
	サービス提供時加算	12	8	2	0	10	0	11	7	6	10	10	6	82

* 令和 8 年 3 月末契約者数 障害児相談 20 名 計画相談 85 名 計 105 名

4. 職員勤務体制

管理者・・・・・・・・・・1 名(常勤兼務)「児童デイサービスゆうゆう・保育所等訪問ゆうゆう」と兼務
相談支援専門員・・・・・・・・・・1 名以上(各事業所管理者が兼務)
相談支援専門員補助(事務担当)・・1 名(常勤兼務)「ゆうほ」と兼務

5. 事業内容

- (1) 利用者が自立した日常生活又は社会生活が営むことができるよう、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者又は障害児の保護者の選択に基づき、適切な保健、医療、福祉、就労支援、教育等のサービスが、多様な事業者から、総合的かつ効率的に提供されるよう配慮して行う。
- (2) 特定相談支援事業等の運営は、市町村、障害福祉サービス事業者等との連携を図り、地域において必要な社会資源の改善、開発に努める。
- (3) 特定相談支援事業等の実施にあたっては、利用者又は障害児の保護者の意思及び人格を尊重し、常に当該利用者又は障害児の保護者の立場に立って、計画作成対象障害者等に提供される障害福祉サービス等が特定の種類又は特定の障害福祉サービス事業者等に不当に偏ることのないよう、公正中立に行われるよう努める。

事業の実施地域は、長崎市、諫早市、時津町、長与町(事業所から片道 30 分圏内)

特定計画相談支援等の提供方法及び内容

- (1) 日常生活全般に関する相談
- (2) 地域の障害福祉サービス事業者等への情報提供
- (3) サービス利用計画又は障害児支援利用計画の作成及び評価
- (4) 訪問による継続的なモニタリング
- (5) 前各号に付帯する便宜
- (6) (1) から (4) に付帯するその他必要な相談支援、助言等。

6. 会計

別添報告書参照

7. 職員研修その他

- ・ 法人研修（虐待防止研修、ハラスメント対策、感染症対策）
- ・ 管理職研修 1 回
- ・ 外部研修（相談支援従事者現任研修、やがみの会（東長崎地区相談支援部会）、長崎市障害者基幹相談支援センター事例検討会）、事業所見学（八幡会 あけぼの学園）

8. 今年度の成果

- ・ 毎月月初めに会議継続実施。
- ・ 事業所見学を行い、入所施設の実情や現状を相談支援専門員が知ることができた。今後も施設見学等の研修を行いながら、強度行動障害の方の受け入れ先の選択肢の幅を増やすことに繋げていきたい。
- ・ 事業所の書類管理を OneDrive で行い、兼務先事業所からもアクセスができるよう業務の効率化をはかった。

9. 来年度への課題

- ・ 契約者受け入れ枠の確保
- ・ 8 年度 6 月からの長崎市の支給基準の利用者説明

令和7年度 児童デイサービスゆうゆう 保育所等訪問支援ゆうゆう 事業報告書

1. 事業実施期間 令和7年4月1日から令和8年3月31日

2. 開所日および開所時間 月曜日～土曜日
平日 11:30～17:30
学校休業日 9:00～16:00
※日曜、祝祭日、8月15日、12月30日から1月3日を除く
※保育所等訪問支援 10:00～17:00

3. 開所日数および利用状況 (1日の利用定員10名)

※放課後等デイサービス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	25	24	25	26	24	24	25	23	25	23	23	25	292
延べ利用者数	274	258	265	273	250	255	226	233	260	221	193	257	2965
平均利用者数	10.6	10.8	10.6	10.5	10.4	10.6	8.7	10.1	10.4	9.6	8.4	10.3	10.2
前年度平均利用者数	11.8	11.5	10.5	11.0	10.9	11.9	11.5	12.0	10.9	11.9	10.6	11.7	11.3

※保育所等訪問支援（令和6年9月1日開所）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	25	24	25	26	24	25	26	23	25	23	23	25	294
延べ利用者数	2	4	3	3	0	4	4	3	4	2	2	0	31
前年度延べ利用者数						0	0	1	0	3	1	2	7

4. 職員勤務体制

管理者兼児童指導員兼訪問支援員・・・1名（常勤兼務）
児童発達支援管理責任者・・・1名（常勤）
専門職員・・・1名（常勤）
保育士兼訪問支援員・・・1名（常勤兼務）
児童指導員・・・3名（常勤1名、非常勤2名）
児童指導員兼訪問支援員兼事務担当・・・1名（常勤兼務）

5. 事業内容 放課後等デイサービス

- (1) 日常生活訓練：活動の中で日常生活に必要な基本的動作の習得をするための支援を行った。
(食事、排泄、更衣等)
- (2) 社会適応訓練：公共施設の利用に関しての利用方法を事前に説明し、ルールやマナーなどを意識できるよう取り組んだ。(ふれあいセンター、図書館、買い物、青年の家、公園等の利用)
イブニングキャンプと称し、3月に通常よりも開所時間を遅らせ、野外炊飯や花火など、普段と違った体験を行った。
- (3) 創作的活動：様々な活動を提供し、それぞれの楽しさや学びの機会を設けた。仲間と活動を行うことで、個人の考えのみでなく、協力することの嬉しさや難しさを感じることもできる機会へ繋げた。(工

作、絵画、音楽、調理、等)

日頃の活動を披露する場として、8月に発表会を開催した。

- (4) 相談支援：要保護対応協議会、相談支援事業所や地域の通所支援事業所、教育機関等と連携しながら家族等の相談援助を行なった。(個別面談の実施、担当者会議、要保護対応協議会への参加)
- (5) 送迎：サービス実施地域内において、学校、自宅への送迎サービスを行った。
- (6) 延長：個別のプログラムを作成し、延長対応を行った。
- (7) 事業所通信の発行：ゆうゆうニュースを毎月1回発行し、活動の様子をご家族に伝えた。
- (8) 保護者交流会、保護者勉強会：7月「保護者勉強会：メディアコントロール」 2月「保護者勉強会：日常で使えるソーシャルスキルトレーニング+ランチ会」を行った。
- (9)・事故報告(0件) ・発生報告(15件) ・ヒヤリハット(160件)

事業内容 保育所等訪問支援

- (1) 集団活動における基本的動作の訓練及び援助
- (2) 集団活動先の職員への相談援助
- (3) 対象児保護者への相談援助及び連絡報告
- (4) 個別支援計画、モニタリングを通じての発達支援

6. 会計 別添報告書参照

7. 職員研修その他

- ・法人研修(愛着障害について、虐待防止研修、ハラスメント対策、感染症対策、3年目研修、5年目研修)
- ・管理職研修1回
- ・事業所内研修(月1回)
- ・外部研修(保育所等訪問支援事業についての情報交換会、天童幼稚園見学、こども部会、保護者勉強会(メディアコントロールについて) AED講習、令和7年度サービス管理責任者実践研修、令和7年度長崎県強度行動障害支援者養成研修(基礎)、令和7年度長崎県強度行動障害支援者養成研修(実践)、令和7年度長崎県サービス管理責任者等更新研修、小児領域限定 発達障がい児・知的障がい児支援のためのSST)

8. 今年度の成果

- ・年間を通して、利用率を安定させることができた。
- ・毎日の活動プログラムを利用者へ周知することで、目的をもって来所することに繋がった。
- ・9月に実地指導監査を受けたことで、着実に業務を遂行できていることが認識でき、職員の就労意欲に繋がった。
- ・車両事故が年間を通してなかった。

9. 来年度への課題

- ・保育所等訪問支援、契約者を増やしていく。
- ・中間管理職のスキルアップ。
- ・新人職員の育成。

令和7年度 児童デイサービスふれふれ遊歩 保育所等訪問支援ふれふれ 事業報告書

- 事業実施期間 令和7年4月1日から令和8年3月31日
- 開所日および開所時間 月曜日～土曜日
平日 11:30～17:30
学校休業日 9:00～16:00
※日曜、祝祭日、8月15日、12月30日から1月3日を除く
※保育所等訪問支援 10:00～17:00
- 開所日数および利用状況 (1日の利用定員10名)
* 放課後等デイサービス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	25	24	25	26	24	24	25	23	25	23	23	25	292
延べ利用者数	280	258	240	294	228	247	247	210	265	246	217	253	2981
平均利用者数	11.2	10.6	9.6	11.3	9.5	9.9	9.9	9.1	10.6	10.7	9.4	10.1	10.2
前年度平均利用者数	11.2	11.4	11.3	11.5	12.1	12	11.2	10.7	10.0	10.6	10.3	11.3	11.1

* 保育所等訪問支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	25	24	25	26	24	24	25	23	25	23	23	25	292
延べ利用者数	8	7	9	10	0	8	8	7	8	7	8	6	86
前年度延べ利用者数	8	10	10	4	0	4	8	8	9	6	6	5	78

4. 職員勤務体制

管理者・・・・・・・・・・1名(常勤兼務)
 児童発達管理責任者・・・1名(常勤兼務)
 児童指導員・・・・・・・・・・3名(常勤2名・非常勤1名)
 保育士・・・・・・・・・・1名(常勤1名)
 指導員・・・・・・・・・・2名(常勤1名、非常勤1名)
 児童指導員兼事務担当・・1名(非常勤)

5. 事業内容(放課後等デイサービス)

- 日常生活訓練：活動の中で日常生活に必要な基本的動作の習得をするための指導を行った。(食事、排泄、更衣、入浴・歯磨き等)
- 社会適応訓練：公共施設や公共機関の利用、集団活動を通してその場にあった行動が出来るような指導を行った。(映画、図書館、買い物、カラオケ、ボーリング、科学館、公園等の利用)
- 創作的活動：様々な活動を提供し、その中で好きな活動を見つけ、自分から選んで参加したり、仲間と一緒に楽しんだりすることが出来るように活動を行った。(工作、絵画、音楽、調理、等)
- レクリエーション：家族を招待して行事活動を行った。
- 相談支援：相談支援事業所や地域の通所支援事業所、教育機関等と連携しながら家族等の相談援助を行なった。(個別面談の実施、担当者会議への参加、保護者会を通して勉強会)
- 送迎：サービス実施地域内において、学校、自宅への送迎サービスを行った。
- 事業所通信の発行：ふれふれニュースを毎月1回発行し、活動の様子を家族に伝えた。

(8) 事故報告 (0 件) 発生報告 (6 件) ヒヤリハット (60 件)

事業内容 (保育所等訪問支援)

- (1) 集団活動における基本的動作の訓練及び援助
- (2) 集団活動先の職員への相談援助
- (3) 対象児保護者への相談援助及び連絡報告
- (4) 個別支援計画・モニタリングを通じての発達支援

6. 会計 別添報告書参照

7. 職員研修その他

- ・法人研修 (事業所目標、虐待防止研修、ハラスメント対策、感染症対策)
- ・管理職研修 1 回
- ・サポーターズカレッジ研修 (月 1 回)
- ・事業所内研修 (月 1 回)
- ・外部研修: 階層別研修 (社会人 1 年生)、保育所等訪問支援事業所についての情報交換
社会人 1 年目研修、福祉・介護現場の接遇研修会、サービス管理責任者実践研修
長崎県相談支援従事者初任者研修、保育所等訪問支援事業所についての研修
強度行動障害支援者養成研修基礎・実践、小児領域限定 発達障がい児・知的障がい児支援のための SST、サービス管理責任者基礎・実践研修、法人後見制度

8. 今年度の成果

- ・今年度は平均利用者数 10.2 人、延べ人数は 2981 人と昨年度を下回り平均 0.9 人のマイナスとなる。土曜日活動の申込者が少なかった、利用者の入院、実習、定期利用者 2 名が自宅や友達と過ごせるようになり利用を控えたこと (利用者の自立につながった事は良かった) がマイナスの原因と考えられる。
- ・専門的支援を確実に実施することで支援の充実と収入へとつなげた。
- ・毎年取り組んでいる「ふれふれ発表会」とは別に、法人外のイベント「ながさきピース文化祭」への参加を行い、利用者、職員ともに自信へと繋がった。
- ・祝日を開所し遠方へのバスハイク (ラウンドワンへ行こう) を実施し、一年に一回の楽しみ活動として定着している。
- ・ログハウスとウッドデッキの老朽化によって撤去を行うと共に、本部解体に伴い倉庫 3 棟を譲り受け活動室、園庭の環境整備を行った。利用者への活動の幅を広げ安全確保ができた。
- ・インターンシップ (長崎総合科学大学 2 年) の受け入れ。

9. 来年度への課題

- ・土曜日利用者の申し込みの低下が見られるため、参加したくなるふれふれ遊歩らしい活動内容を実施する。
- ・支援プログラムの充実化と定着。
- ・毎日の個別プログラムの充実と支援スキルの向上。
- ・新人職員の育成。
- ・Instagram への情報発信。

令和7年度 児童デイサービスゆうみん 事業報告書

(放課後等デイサービス・児童発達支援)

1. 事業実施期間 令和7年4月1日から令和8年3月31日

2. 開所日および開所時間 月曜日～土曜日

平日 11:30～17:30

学校休業日 9:00～16:00

※日曜、祝祭日、国民の休日、8月15日、12月30日から1月3日を除く

3. 開所日数および利用状況 (1日の利用定員10名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	25	24	25	26	24	24	25	23	25	23	23	25	292
延べ利用者数(放デイ)	214	205	199	226	175	181	182	161	204	191	189	207	2334
延べ利用者数(児発)	25	32	34	40	25	40	39	41	40	31	36	39	422
平均利用者数	9.6	9.9	9.3	10.2	8.3	9.2	8.8	8.8	9.8	9.7	9.8	9.8	9.4
前年度平均利用者数	8.2	8.2	8.3	9.4	10.3	8.8	8.5	9	8.8	9.3	8.0	9.9	8.9

4. 職員勤務体制

管理者兼児童指導員・・・・・・1名(常勤兼務)

児童発達支援管理責任者・・・・・・1名(常勤)

主任・専門職員(保育士)・・・・・・1名(常勤)

児童指導員・・・・・・3名(常勤1名、非常勤2名)

指導員・・・・・・1名(常勤)

児童指導員兼事務担当・・・・・・1名(非常勤)

5. 事業内容

- (1) 日常生活訓練: 活動の中で日常生活に必要な基本的動作の習得をするための支援を行った。(食事、排泄、更衣等)
- (2) 社会適応訓練: 公共施設や公共機関の利用、集団活動を通してその場にあった行動が出来るような支援を行った。(公園の利用、外食活動、公共交通機関への乗車、買い物活動)
- (3) 創作的活動: 様々な活動を提供し、その中で好きな活動を見つけ、自分から選んで参加したり、仲間と一緒に楽しんだりすることが出来るように活動を行った。(工作、絵画、音楽、調理、等)
- (4) レクリエーション: 家族や地域との合同活動をおこなった(ゆうほまつり、お楽しみ会)
- (5) 相談支援: 相談支援事業所や地域の通所支援事業所、教育機関等と連携しながら家族等の相談援助を行なった。(個別面談の実施、担当者会議への参加)
- (6) 送迎: サービス実施地域内において、学校、自宅への送迎サービスを行った。
- (7) 事業所通信の発行: ゆうみんニュースを毎月1回発行し、活動の様子を家族に伝えた。
- (8) 事故報告(0件)・発生報告(40件) ヒヤリハット(84件)

6. 会計 別添報告書参照

7. 職員研修その他

法人研修

虐待防止研修

ハラスメント研修

感染症予防研修

遊歩の会 法人内研修（支援研修、法人内監査）

管理職者研修

ゆうみん研修会（サポーターズカレッジ、ミニ研修会）

障害児支援基本研修

AED 救命講習

強度行動障害支援者養成研修（基礎・実践）

長崎県立諫早特別支援学校 学校公開

長崎県立長崎特別支援学校 学校公開

「からだところ」幼児期から考える性

サビ児管研修（基礎・実践・更新）

相談支援従事者初任者研修

S S T 研修会

8. 今年度の成果

- ・ 児童発達支援の利用が昨年度よりも増え、利用率の増加につなげることができた。
収支において黒字化することができた。
- ・ 保護者同士の茶話会、親子活動をおこない、保護者同士の交流の場を作ることができた。
- ・ 夏休み活動の発表会をおこない、活動の様子を披露することができた。
- ・ 長崎市からの実地指導を受け、できていること、今後改善していくことを明確にすることができた。

9. 来年度への課題

- ・ 活動内容の充実
- ・ 職員のスキルアップ
- ・ 関連機関や保護者との連携強化
- ・ 環境整備や構造化をおこない、利用者にとって過ごしやすい環境作りを進める

令和7年度 グループホーム・ショートステイ遊歩の家 事業報告書

1. 事業実施期間 令和7年4月1日から令和8年3月31日

2. 開所日および開所時間 年中無休

3. 開所日数および利用状況

グループホーム ユニット①（女性） 7名

ユニット②（男性） 7名

ショートステイ ユニット②（男女兼用） 1名

ユニット①②	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
延べ利用者数	409	409	410	418	413	396	417	400	404	394	378	421	4869
平均利用者数	13.6	13.2	13.7	13.5	13.3	13.2	13.5	13.3	13	12.7	13.5	13.6	13.3
前年度平均利用者数	13.5	13.2	13.5	13.4	13.1	13.3	13.2	13.2	13.0	12.6	13.2	13.5	13.2

ショートステイ

延べ利用者数	29	34	34	38	31	31	30	36	30	29	24	29	377
平均利用者数	0.97	1.1	1.13	1.23	1	1.03	0.97	1.2	0.97	0.94	0.86	0.93	1.02
前年度平均利用者数	1.07	1.1	1	1.1	1	1.1	1.06	1.13	1.16	1	1.11	1.06	1.07

4. 職員勤務体制

管理者・・・・・・・・・・1名（常勤兼務）

サービス管理責任者・・・・・・・・1名（常勤兼務）

生活支援員・世話人・・・・・・・・10名（常勤6名、非常勤4名）

生活支援員・世話人兼事務担当・・1名（常勤）

5. 事業内容

(1) 共同生活支援事業（グループホーム）

- ・利用者に対する相談
- ・食事の提供
- ・健康管理・金銭管理の援助
- ・余暇活動の支援
- ・緊急時の対応
- ・職場等との連絡調整
- ・財産管理等の日常生活に必要な援助

(2) 短期入所事業（ショートステイ）

- ・入浴の介助、又は清拭
- ・排せつの介助
- ・食事の介助

- ・その他の必要な介助
- ・健康管理
- ・送迎サービス

(3) 事故報告（0件）発生報告（26件）ヒヤリハット（196件）

6. 会計 別添報告書参照

7. 職員研修その他

- ・法人共通必須研修（虐待防止、ハラスメント対策、感染症対策2回）
- ・法人内キャリア研修（新人研修、入社7年目研修、支援研修、評定者研修、監査研修、交流研修）
- ・サポーターズカレッジ研修（月1回）
- ・事業所内研修（月1回）抱えない介助法、身体拘束指針、服薬業務実施要項共有、情報発信研修、アンガーマネジメント研修、等
- ・外部研修（県社協 web 研修：災害時の対応と BCP、感染症予防と BCP、接遇研修会、サービス管理責任者基礎研修・実践研修、強度行動障害実践研修、

8. 今年度の成果

* グループホーム

- ・第1回地域連携推進会議の実施
- ・地域交流の機会、Instagramでの情報発信
- ・余暇支援の強化や手作り食事による入居者の満足度向上
- ・女性スタッフの増員、支援体制の維持
- ・ノーリフトへの取り組み、移乗機器 hug の使用
- ・老朽箇所の修繕

* ショートステイ

- ・利用率の維持（定期利用・不定期利用）、緊急受け入れへの対応

9. 来年度への課題

* グループホーム

- ・地域交流や余暇支援の強化、地域合同避難訓練の実施
- ・同性支援体制の維持、ユニット間の情報共有強化
- ・利用者支援や腰痛予防のためのノーリフト取り組み継続
- ・ヒヤリハット事例の検討会議継続、虐待防止のための検討会議継続
- ・交流研修や見学研修によるリーダー職スキルアップ、若い人材の育成

* ショートステイ

- ・新規緊急受け入れへの対応に備えた情報収集、支援スキルの向上

令和 7 年度 障害福祉サービス事業所遊歩 事業報告書

1. 事業実施期間 令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日

2. 開所日および営業時間 月曜日～土曜日 8:00～17:00
※日曜、祝祭日、8 月 15 日、12 月 30 日から 1 月 3 日を除く

3. 開所日数および利用状況 (1 日の利用定員各 10 名)

○生活介護 (atelier Wonder-ho!)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
開所日数	25	24	25	26	24	24	25	23	25	23	23	25	292
延べ利用者数	273	276	289	291	256	259	279	253	278	251	251	282	3238
平均利用者数	10.9	11.5	11.6	11.2	10.7	10.8	11.2	11.0	11.1	10.9	10.9	11.3	11.1
前年度平均利用者数	9.9	9.6	8.4	9.0	9.5	9.5	8.9	9.8	9.5	9.2	8.6	9.9	9.3

○就労継続支援 B 型 (working share Hi-ho!)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
開所日数	25	24	25	26	24	24	25	23	25	23	23	25	292
延べ利用者数	280	244	253	250	262	255	244	222	238	230	226	258	2967
平均利用者数	11.2	10.2	10.1	9.6	10.9	10.6	9.8	9.7	9.5	10.0	9.8	10.3	10.2
前年度平均利用者数	9.3	8.9	8.4	8.9	9.0	9.1	7.7	8.5	7.8	9.0	8.2	9.1	8.6

4. 職員勤務体制

管理者兼生活支援員・・・・・・・・・・・・・1 名(常勤兼務)
サービス管理責任者・・・・・・・・・・・・・1 名(常勤兼務)
生活支援員・・・・・・・・・・・・・8 名(常勤 4 名、非常勤 4 名)
生活支援員兼調理員・・・・・・・・・・・・・1 名(常勤)
職業指導員・・・・・・・・・・・・・1 名(常勤)
看護師兼生活支援員・・・・・・・・・・・・・1 名(常勤)
調理員・・・・・・・・・・・・・1 名(非常勤)
生活支援員兼事務員兼管理栄養士・・・・・・・・・・・・・1 名(非常勤)
生活支援員兼事務担当・・・・・・・・・・・・・2 名(非常勤)
運転支援員・・・・・・・・・・・・・2 名(非常勤)
製菓作業員・・・・・・・・・・・・・2 名(非常勤)(9 月 30 日まで)

5. 事業内容

(1)活動内容

○生活介護 (atelier Wonder-ho!)

絵画、貼り絵、折り紙、パソコンでの造形など利用者の強みを活かした芸術活動。
利用者のデザインの商品化。その他日常生活支援(食事・排せつ介助等)。

○就労継続支援 B 型 (working share Hi-ho!)

給食提供に係る調理補助作業、飲食店運営に関わる調理補助・接客作業、その他付随する軽作業、

就労に必要な研修

(2)地域活動

外出活動：季節ごとの外出活動

生活介護・就労継続支援 B 型合同での外出活動

(3)実習受け入れ

鶴南特別支援学校高等部（職場体験実習）

虹の原特別支援学校高等部（職場体験実習）

諫早特別支援学校高等部（職場体験実習）

(4)地域貢献

地域開放イベントの開催

(5)インターンシップ受け入れ

長崎純心大学 3 年生

(6)その他

利用者面談、健康診断、環境整備活動、避難訓練、事業所通信の発行

(7)事故報告（0 件） 発生報告（12 件） ヒヤリハット（169 件）

6. 会計 別添報告書参照

7. 職員研修その他

- ・法人研修（事業所目標、虐待防止研修、ハラスメント対策、感染症対策、人事考課評価者研修、入社 3 年目・5 年目研修）
- ・管理職研修 1 回
- ・サポーターズカレッジ研修（月 1 回）
- ・事業所内研修（月 1 回）
- ・外部研修（県社協階層別研修、障害児・者支援研修、AED 講習、強度行動障害支援者養成研修、サービス管理責任者実践研修、長崎県相談支援従事者初任者研修、レクリエーション研修、安全運転講習、アート活動アトリエ見学研修、生活介護事業所見学研修、就労支援事業所見学研修）

8. 工賃の支払い

○就労継続支援 B 型

R6 年度

目標工賃額 年間支給総額 2,120,000 円

実績工賃額 年間支給総額 2,187,094 円（一人当たり月平均工賃 20,941 円）

R7 年度

目標工賃額 年間支給総額 2,490,000 円

実績工賃額 年間支給総額 2,666,325 円（一人当たり月平均工賃 21,874 円）

- ・令和 8 年度の報酬改定により平均工賃月額基準が引き上げられ、それに伴い現行水準では基本報酬区分が下がり事業所収入が減少するため、次年度に向けて月平均工賃 23,000 円以上を目指した取組が必要となる。

○生活介護

R6 年度

実績工賃額 年間総支給額 49,661 円

R7 年度

目標工賃額 年間総支給額 90,000 円

実績工賃額 年間総支給額 55,359 円

- ・目標額は下回ったが、利用者がデザインしたカレンダーの販売など商品展開を行い、工賃向上につながるとともに、多くの方に活動を知ってもらう機会となった。

9. 今年度の成果

- ・新規利用者の増加により、生活介護・就労継続支援 B 型ともに平均利用率が 100%を超え、昨年度を上回る実績となった。
- ・就労継続支援 B 型の収支において、今期は黒字化を実現することができた。
- ・生活介護における ART 活動では、ブリックホールや市役所での作品展に加え、近隣の銀行にて毎月の個展開催を新たに開始し、地域へ活動を発信することができた。
- ・定期的な体重・血圧測定に加え、朝のラジオ体操やボッチャ、風船バレーなどのレクリエーション活動を充実させ、健康促進につなげた。
- ・就労継続支援 B 型では、外部工場や法人内グループホームの清掃、ビワの皮むきなどの外部委託作業に積極的に取り組み、作業内容の拡充を図ることで工賃向上につなげた。
- ・地元商店の出店や作家の参加、もちつきなどを取り入れた住民参加型イベントを開催し、多くの方に来場いただき、地域とのつながりを深めることができた。

10. 来年度への課題

- ・利用者増に伴う活動スペースの確保と活動計画・職員配置の工夫
- ・wonder-ho! 移転計画、事業展開に向けた新規利用者の獲得
- ・就労継続支援 B 型の作業の確保
- ・hand made café Hi-ho! のメニュー開発、集客増
- ・生活介護アート作品の商品展開、展示方法の開拓
- ・職員のスキルアップ